



KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

株主通信

2016年 冬号

コニカミノルタ株式会社



JPX 日経インデックス400 構成銘柄

証券コード：4902



「株主の皆様へ」

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの2016年3月期第3四半期連結累計期間(2015年4月~12月、以下「当期間」)の概況をご報告いたします。

当期間のグループ業績は、売上高は増収を確保しましたが、利益面では対ユーロでの円高影響等を受け、減益となりました。第4四半期は、厳しい市場環境の中、全社を挙げて収益力強化に取り組んでまいります。

2016年2月
コニカミノルタ株式会社
代表執行役社長

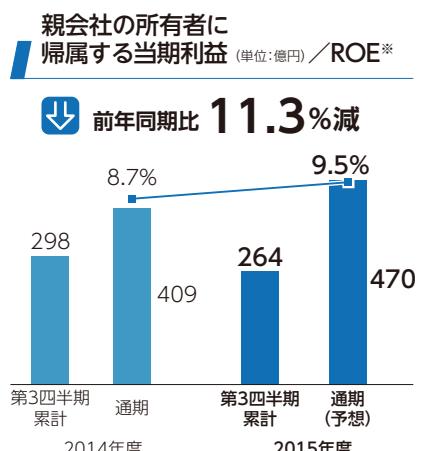
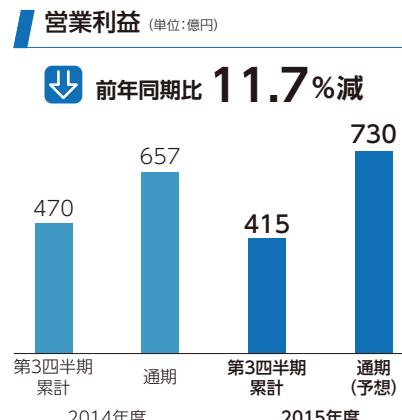
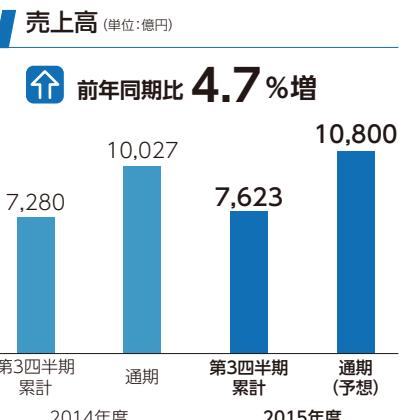
山名 昌樹

当期間における当社グループの連結売上高は7,623億円(前年同期比+4.7%)、営業利益は415億円(同11.7%減)と、増収減益の決算となりました。

情報機器事業はカラー製品の販売増に企業買収や対ドルの円安効果も加わって増収増益、ヘルスケア事業も堅調な国内販売、米国での企業買収が寄与して増収増益となりましたが、産業用材料・機器事業は機能材料分野での販売物量の減少等により減収減益となりました。これら事業部門における収益の増減に、当期間前半に実施した構造改革に伴う一時的費用の計上も加わりました。

当社グループを取り巻く内外の環境は先行き不透明な状況が続くと思われますが、2015年10月29日に公表した通期業績予想は据え置きました。第4四半期は、厳しい市場環境の中、各事業における主力製品の拡販や付加価値型販売の推進による収益力強化に取り組むとともに、TRANSFORM実現のために必要な投資は継続的かつ積極的に行っていきます。

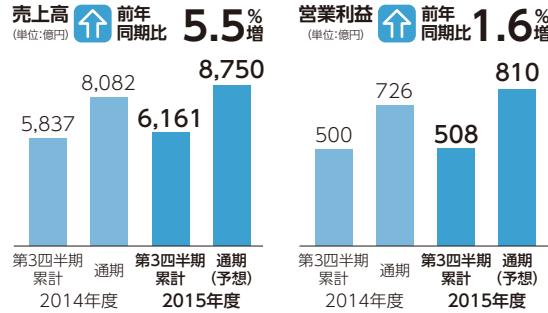
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



*ROE:親会社の所有者に帰属する当期利益／資本金、資本剰余金、利益剰余金、自己株式の合計(期首・期末平均)

情報機器事業

オフィスサービス分野の新製品、商業・産業印刷分野のカラー旗艦機が牽引し増収も、損益影響が大きい対ユーロでの円高が当期間後半に進行し、小幅な増益に留まりました。



オフィスサービス

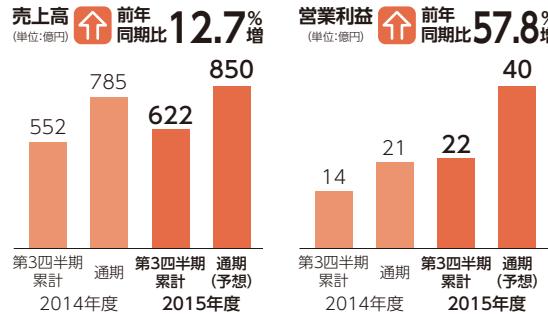
- A3カラーMFPは、価格競争に追随せず、付加価値戦略を継続しながら中高位機種を中心に販売台数が伸長。
- ITサービスソリューション・OPS(出力環境最適化サービス)・GMA(多国籍大手企業向け営業)など付加価値型販売は欧米を中心に着実に増加。

商業・産業印刷

- カラー旗艦機「bizhub PRESS C1100シリーズ」が欧米を中心に好調を持続。
- MPM・プリントサービスはデジタル分野でのサービス契約を獲得するなどビジネスフィールド拡大に貢献。

ヘルスケア事業

国内向け販売の堅調に、米国で買収したViztek社の売上が加わり、2ケタの増収。主力デジタル製品の販売増に保守契約の件数増も貢献し、大幅な増益となりました。



デジタル

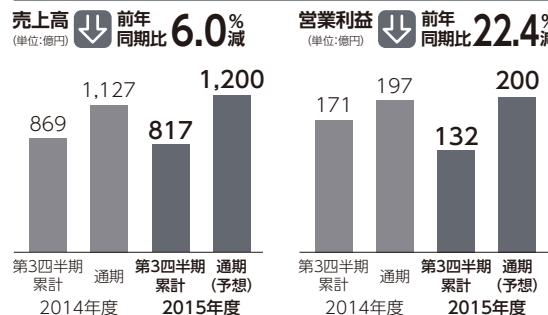
- カセット型デジタルX線撮影装置「AeroDR」が海外を中心に販売を拡大。
- 超音波画像診断装置「SONIMAGE HS-1」が整形領域で高い評価を獲得し、国内で大幅に伸長。スポーツ選手の健康管理向けにも導入進む。

アナログ・その他

- 国内の医療機関向けに、仕入れ商材の販売が堅調。

産業用材料・機器事業

産業用光学システムは概ね前年並み売上を確保するも、機能材料も販売減や、費用増加等の影響を受け、事業全体では減収減益となりました。



産業用光学システム

- 成長分野の計測機器、産業・プロ用レンズは増収。
- コンパクトカメラレンズ、ピックアップレンズは需要減の影響を受け、販売減。

機能材料

- 市場環境が厳しさを増し、大型液晶TV向けTACフィルムが減速。
- 薄膜TACは当期間第2四半期から回復するも、機能材料全体では減収。

お知らせ

「環境経営度調査」の製造業総合ランキングで2年連続1位を獲得するなど、当社経営が外部評価機関から高い評価を獲得。



近年では、環境活動やCSR活動など、非財務情報に基づく企業評価が世界的に広がっています。当社は2015年度も、日本経済新聞社による第19回「環境経営度調査」において製造業総合ランキング1位を2年連続で獲得したほか、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を選定する「健康経営銘柄」にも2年連続で選ばれるなど、引き続き国内外の評価機関から高い評価を獲得しています。

今後もこうした社会からの高評価を得られるよう、引き続き経営品質の向上に努め、企業価値をさらに高めてまいります。

当社IRサイトやアニュアルレポートも外部から高い評価を獲得しています。

IRサイトが大和証券グループの大和インベスター・リレーションズ社が選ぶ「インターネットIR表彰」において最優秀賞を2年連続で受賞し、アニュアルレポートが日本経済新聞社の「NIKKEI Annual Report Awards 2015」で奨励賞を受賞するなど、2015年度も外部の評価機関から高い評価を獲得しました。これらを励みに、今後もIR活動のさらなる強化に努めます。

御礼 / ニューイヤー駅伝に際して
温かいご声援をいただき御礼申し上げます。

毎年元日に行われる駅伝最高峰の「ニューイヤー駅伝」に、今年もコニカミノルタ陸上競技部が出場しました。株主の皆様からの温かいご声援に対し、誌面を借りて御礼申し上げます。結果は惜しくも2位となりましたが、今後とも挑戦を続けてまいりますので、引き続きご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。

